第56号　2002年1月18日　　発行人　白井好雄　　編集人　佐藤宗吾

道建労協機関紙

PAVE

Council of Road Construction Worker´s Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会　〒104-8380　東京都中央区京橋1-19-11（日本鋪道労働組合内）　電話03（3562）5857
URL.http://www1.ocn.ne.jp/~cru

撮影：岡野 和江
（前田道路労働組合）

激変する環境に迅速な対応を

議長　白井　好雄
（日本鋪道労働組合）

道建労協の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、国内外共に波乱の年でありました。特にアメリカにおいての同時多発テロにより景気回復が遅れ、それにともない世界不況が進行しました。国内においては、小泉内閣の「聖域なき構造改革」により公共投資の削減や、道路公団を含む特殊法人の民営化案など、私たちが働く建設産業、とりわけ道路建設産業は厳しさが増してきています。しかしながら、道路建設産業においては、国土交通省の政策大綱に示されている「技術と経営に優れた企業が自由に伸びられる環境の実現」を目指して改革が進められてきています。

さて、私は議長初年度として、昨年7月の中央定期大会で決議された2001年度の取り組みとしての、活動、行事に積極的に参加してきました。その中で感じたことは、地方の活動は定着しており本部指導なしでもスムーズに運営されてきている事でした。これからは、地方の活動は地協にまかせ、激変する環境に対応すべく、本部の活動の中心は中央に向け、より迅速なる情報収集と内外の環境への素早い反応を活動の柱として考えていきたいと思います。

今年も道建労協は、道路建設産業を代表とする産業別労働組合として地道ではありますが活発に活動していきます。そして、21世紀も魅力ある産業であり続けるために、働く者の立場から発言していく所存でございます。

本年こそ良い年となりますよう祈念いたしまして年頭の挨拶とさせて頂きます。

フリーウェイ

『ビジョンやいかに！』

小泉首相は「無信不立」・「構造改革なくして景気回復なし」・「聖域なき構造改革」、ソニーの出井社長は「デジタル・ドリーム・キッズ」・「エレクトロニクスとエンタテイメントの融合」・「リ・ジェネレーション」、トヨタ自動車は「Drive Your Dreams」・「人・社会・地球の新しい未来へ」、ホンダは「The Power of Dreams」・「喜びの創造」・「喜びの拡大」・「喜びを次世代へ」、これらは全てその方々や企業のビジョンです。

ビジョンとは「未来に対する構想」と辞書にかかれています。ビジョンを持った人や企業はどのような考えのもとで行動しているのか、また人を引き付け魅了し心の中に何かが生まれる。私達もそれぞれ個人や会社のビジョンに向かって日々生活をしているのではないでしょうか。

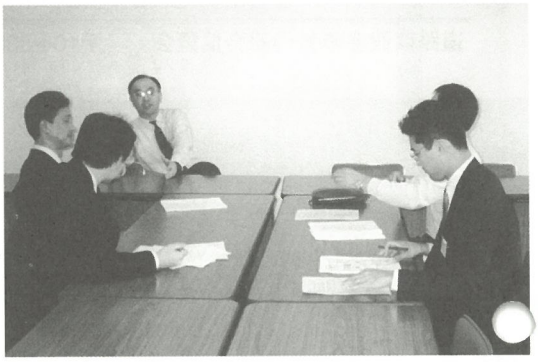
私達の未来は？道路建設業界の未来は？日本の未来は？一人一人がすばらしい未来となるビジョンをお持ちのことと思います。2002年みなさんのビジョンやいかに？

〔大成ロテック社員組合　小山〕

第5回単組役員研修会開催！

単組役員研修会が11月16日、17日の２日間にわたり、千葉県習志野市の幕張セミナーハウスに於いて、各単組役員と北海道・関東・中部・関西の各地協幹事の計25名が参加して開催されました。この研修会は労働組合の次代を担う単組役員のスキルアップを目的としております。

１日目は、白井議長の挨拶から始まり、講演とグループディスカッション、模擬団交の要求書提出までが行われた。講演は東海興業労働組合 上土井委員長をお迎えし「労働組合のチェック機能について」と題して、東海興業が97年７月に会社更生法を申請してから、経営再建へ向け現在に至るまでの労働組合の果たした役割と、労働組合とはどのような組織でなければいけないかを「自立と共生」というキーワードを使って、ドキュメント風にお話いただきました。グループディスカッションは「労働組合に求めるもの、求められるもの」をテーマに話し合われました。参加者は、企業は違っても労働組合に求められるものに違いはなく、今までとは果たす役割も変わってきたことを、議論の中で感じているようであった。夕方からは、翌日の模擬団交における団交内容の設定説明、要求書提出が行われ、ようやく１日目が終了した。



作戦会議

２日目に入り、模擬団交開始。１組「雇用延長制度の導入」２組「傷病休暇の先行取得」３組「燃料手当の廃止（会社からの申し入れ）」という団交テーマに対し、会社側、組合側に分かれ実践さながらの交渉が行われ、交渉中に模擬団交ということを忘れてしまったかのように感情が前面にでる場面もありました。

２日間という短い研修ではありましたが、各単組での活動の一助になることを期待しています。研修後のアンケートには、「有意義であった。自分達の置かれている状況を再確認できた。」「研修会で学んだことを活用し今後に生かして行きたい。」「他社との考え方に色々違いがあることが分かった。」「他社も同じ問題を抱えていることが分かった。」等の意見が寄せられており、研修と情報交換の両面から今後の参考にしたい。

模擬団交

建設産労懇第３回総会開催される

平成13年10月23日（火）、ゆうぽうと（品川・五反田）において建設産労懇の第３回目の総会が開催された。総会は例年どおり、日建協をはじめ各参加団体の今年度の活動方針を発表し、その後「土曜休日取得」、「建設行政に関する問題」、「サービス残業」の３つの分科会に分かれて意見交換を行った。道建労協、建設連合、日建協の役員がそれぞれの分科会の座長を務めた。道建労協は岩田中央執行委員（フジタ道路職員組合）が「サービス残業」の分科会を担当し、統計資料やさまざまな事例、厚生労働省の通達の話を交えながら意見の取りまとめを行った。３つの分科会とも、限られた時間の中で結論まで導く事はできなかったが、意思の疎通を図ることはできた。

第2・第4土曜日事業所一斉休業運動

道建労協の重要な取組みとなっております11月の「第２・第４土曜日の事業所一斉休業運動」が実施されました。キャッチフレーズは「ものづくりはチームワーク。土曜閉所もチームワーク。」としてポスターを作成し、各加盟単組企業と業界団体を訪問しこの運動への理解と協力求め要請を行いました。また、単組の事業所単位での実施状況のアンケートを実施し、現在集計中です。

道路建設業界の経営環境は恐々事業の縮小等で悪化の一途を辿るにつれ、労働環境改善は二の次となり「時短、土休」はトーンダウンとなりがちです。道建労協で実施したアンケート等には、このような厳しい環境下においてはある程度の辛抱は覚悟しているため「労働時間の短縮が思うように進まないことは我慢出来るものの、予定した休日に確実に休めないことが最もつらい」との意見も寄せられております。

道路を建設する魅力、竣工の達成感は昔も今も変わりはありませんが、近年若年者の中途退職が急増しており、これは現場に従事する者に時間的に余裕が無く、同僚や上司に相談が出来ずに、一人で悩み抜いた末に退職する者があとを断たない事が大きな要因です。中長期的視野に立てば、激変する道路建設産業において求められるものは、メリハリの効いた勤務形態を実現して若年者の中途退職を防ぎ、高度な技術力を磨く事が必要だと思います。魅力ある道路建設産業とするために、引き続き職場全員での「休む努力」をお願いします。

10月15日	大有建設株式会社
10月17日	日本道路建設業協会、日本アス合材協会、フジタ道路株式会社、フドウ道路株式会社
10月22日	東京鋪装工業株式会社
10月25日	大林道路株式会社
11月１日	前田道路株式会社
11月27日	静岡県アス合材協会、京都アス合材協会、滋賀県アス合材協会
11月28日	福井県アス合材協会

地協活動報告

北海道地協定期大会開催

10月19日にホテルライフォート札幌において、第11回北海道地協定期総会が、地協役員他各単組５名の参加により開催されました。

議事では2000年度の活動報告・決算報告並びに2001年度の活動方針・予算が審議され、いずれも満場一致で承認されました。

北海道地協では2001年度の運動方針を「各単組の情報交換」と「レクレーション活動」とし、幹事会やセミナー等を通じて単組間の相互交流や地域問題等について活動していくこととしました。

役員改選では、議長の翁信次氏（三井道路労組・在任期間３年）が退任され、新議長として湯浅慎司（大成ロテック社組）が承認されました。

議事終了後、特別講演として北海道出身の女性登山家、高橋留智亜氏に「北の大地から世界最高峰を極める」と題して、世界最高峰エベレストの登頂に成功するまでの記録を、スライドや会場からの質問を交えてお話ししていただきました。

最後に参加者全員で万歳三唱を行い、定期総会は滞りなく終了しました。

北海道地協　議長　湯浅慎司（大成ロテック社員組合）

関東地協定期大会開催

去る９月28日、東京港区の健保会館にて第12回道建労協関東地協の定期大会が開催されました。当日は各単組から代議員として29名、又、来賓として本部の長野事務局長にもご出席を頂き、平成12年度の関東地協議会の活動内容と今後の活動方針について説明させてもらいました。関東地協も設立以来10年を超え、活動内容は多岐に渡ってきましたが、今後は、その活動内容をいかに一組合員と共有できるかが大事になってくるものと思います。一般情勢は、労働組合にとって逆風の時代が続いておりますが、その結果同じ業界内での情報交換の重要性は以前にもまして高まっています。今後も変わらぬ関東地協へのご参加、ご協力をお願いいたします。

関東地協　議長　内村哲弘（大林道路職員組合）

中部地協定期大会開催

９月12日第12回道建労協中部地協の定期大会が名古屋サイプレスガーデンホテルで開催されました。前の夜はあのアメリカ同時多発テロが起きたということもあり、当日の話題はテロの話で持ちきりでした。さて、大会は来賓に本部白井議長と建設連合愛知県連合会の川原副会長をお招きし、代議員49名の出席により進行していきました。大会議長には大林道路職員組合の増田さんが選出されました。議案はすべて満場一致で承認されましたが、今期の活動内容についての鋭い質問が出されるなど、身のある大会となりました。白井議長は地協の活動に初参加ということでしたが、中部地協の活気に非常に満足されたとのことでした。地協の活性化が本部の活動の発展につながると信じ、今年１年中部地協も活動していきますので、みなさまよろしくお願いします。

中部地協　議長　新井　薫（日本鋪道労働組合）

関西地協定期大会議長挨拶

H.13.9.28

皆様こんばんは。大変お忙しい中、道建労協関西地協の第12回定期総会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまご紹介いただきました山川でございます。関西地協を代表いたしまして、一言御挨拶を申し上げます。

さて、現小泉内閣の竹中経済財政担当大臣が、７月に発表した月例経済報告では、景気の基調判断を「悪化している」と表現されました。この「悪化」との表現は、ここ５ヶ月の景気判断では初めてのことであり、具体的には、個人消費の弱さを指摘したほか、企業の設備投資は、増加傾向が止まったと判断しています。そして、2000年３月以降の景気判断に盛り込んでいた「自立的回復」との表現も削除されており、「景気は後退局面に入った確率が高い」と、景気に対する警戒感を強めています。

また、本年４月総務省が発表した全所帯の家計調査によると、一世帯当たりの消費支出は31万８千円余となり、物価変動の影響を除いた実質で前年同月に比べて4.6%減少しています。この調査で前年を下回るのは、３ヶ月ぶりとなりますが、減少幅は、1998年３月以来の大きさで、雇用や所得環境の厳しさが個人消費に大きく波及しているものと考えられます。

さらに、帝国データバンクの発表によると、５月の企業倒産件数は、前年同月に比べて12.8%増と今年最高を記録しました。特に建設業は18.5%増と急増しており、今後中小企業の倒産はさらに増えるものと予測しています。

このような社会情勢の中、道路建設業界にあっては、生き残りを賭け、活力ある産業への移行を各社とも模索している現状で、お集まりの各単組とも厳しい組合運営を迫られています。

こういった逆風だからこそ、道建労協・関西地協として、各単組間の横の連携を密にし、レクリエーションを中心とした情報交換の場を設ける事の意義が出てくるものと考えています。単組内や会社の職制の中ではなかなか言えないことも同業者間であれば意見交換が出来ることもあるだろうと思います。

今回の提出議案について、皆様の活発なご審議かなされ、大成功の大会となりますことを心よりお願い申しあげまして、一言御挨拶とさせていただきます。

関西地協　議長　山川　亮（大林道路職員組合）

恒例！クリスマスパーティー開催！

毎年恒例になりました建設連合・道建労協合同のクリスマスパーティーが、今年も12月13日（木）に行われました。今回もたくさんの単組・組合員に参加していただき大盛況でした。一番の盛り上がりはなんと言っても「ゲーム」ですね！しかも今年は昨年とは違うゲームそれは「漢字ビンゴゲーム」です。ルールは、数字の代わりに「さんずいへん」の付く漢字をカードに記入するだけの簡単なゲームです。しかしゲームが始まると、漢字がなかなか出てこないようですね。すると1人で考えるのを諦めて単組間で相談、それでもだめなのか？周りの人と相談、と交流の輪が段々と広がっていきました。先ほどまで静かだった会場が今となっては割れんばかりの声、それも漢字について！どうやら今まで皆さんは猫をかぶっていたようです。

緊張も取れいよいよ抽選の始まり、ここでも始めは静かでしたがリーチが1人2人と出てくると段々と皆さんのいる位置が、気持ちの表れなのか前へ前へと押し寄せそれは大変なビンゴゲームとなりました。そしてこの勢いのまま次のゲーム「単組対抗早や飲み食い」（ルールは①ビール早や飲みと剣玉→②コーラ早や飲みと剣玉→③アイスクリームの早食いといった感じです）へと、移りました。ここまで来ると緊張の欠片も無く、ビンゴとならなかった悔しさ？なのかは解りませんが、勢いが昨年とは違いました。

パーティーも終わりの時間となり落ち着きを取り戻すかと思えば、まだまだですよ「夜はこれから」と言わんばかりに、皆さん会場を後にしていきました。いかがですか？不景気の中ではありますが、このパーティーに参加して勢いとパワーを吸収してみては！来年も皆さんの参加を待っております。

中部地協　幹事　菅井正和
（東京鋪装工業社員労働組合）

物知りクイズ当選者発表

前回の「カルトスポーツ編」（第55号ＰＡＶＥ）の当選者が決定いたしました。昨年は、景気後退の中、世界を舞台に活躍したスポーツ界の話題が大きな救いでした。全問正解の下記の方々に粗品をお送りいたします。ご応募ありがとうございました。

前回の答え
- **Q1　①242安打**（イチローの昨年の記録）
- **Q2　③貢**（巨人軍の原監督の父親の名前）
- **Q3　④ヌデレバ**（高橋尚子の世界新を破ったのは）
- **Q4　①ハム**（中田所属のイタリア「パルマ」の親会社が主に製造する食品）

当　選　者（敬称は省略させていただきます）

井上　厚　（大林道路職員組合）
須田　浩章　（大林道路職員組合）
山瀬　将樹　（大成ロテック社員組合）
浅野　雄二　（東亜道路労働組合）
近藤　理恵　（東亜道路労働組合）
近藤　美佳　（日本鋪道労働組合）

これからも物知りクイズをよろしくお願いいたします。

※前回55号の掲載内容に誤りがありました。
新年度役員紹介　（誤）ー会計幹事 須崎　厚（東亜道路労働組合）
（正）ー会計幹事 須崎　厚（大林道路職員組合）
深くお詫びいたします。

●今月の紙面で良かった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●宛先　〒104-8380　東京都中央区京橋1-19-11　日本鋪道労働組合内
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛　FAX 03-3535-4810
URL http://www1.ocn.ne.jp/~cru

※次号は４月発行の予定です。

単組委員長登場！

三井道路労働組合　西島委員長

西島委員長の紹介

三井道路労働組合中央執行委員長
氏　名　西島　靖春
生年月日　昭和36年５月27日
住　所　神奈川県座間市在住
家　族　妻、子供４人（６人家族）
趣　味　競馬（独身の頃　現在不明）
現　在　発注者　国土交通省
八王子市（夜間工事）勤務
作業所に宿泊のため別居中

入社して18年間つねに作業所での生活、独身時代はお酒を飲みにいくことを楽しみにしていたが、今は子供の成長が楽しみと言っている、しかし子供の成長と共に自分の財布の中身が寂しくなることだけは避けたいのか組合活動では特に賃金交渉に実感のこもった内容も多く頼もしい委員長である。最近は、夜勤明けにもかかわらず寝ずに組合活動に出席し大変とは思いますが、やはり委員長としての責任感は強く現場職員の代表として現場での問題点・改善点を訴え交渉し、時には家族のことを思い、ゆとりある職場作りを目指して組合活動に励んでいます。とりあえず委員長の個人的な目標としては「現在体重を10kg減らし健康管理」をすることだと言っています。
子供4人のパパは、今日も現場・組合でがんばっています。

（紹介者 三井道路労働組合　書記長　澄川 武）

編集後記

昨年を象徴する「今年の漢字」は「戦」とのこと。世界では米同時テロ、アフガニスタン空爆。日本国内では失業率５％突破や狂牛病騒動…

新聞を読んでも、人員削減、赤字決算、不況、倒産という言葉が毎日のように載っている。「戦」以外にも「狂」、「乱」、「恐」、「壊」というちょっと怖いイメージのある漢字ばかりが目立ったそうです。

まだまだ私達を取り巻く環境は厳しいままです。今すぐにとは行かないでしょうが、いつかは明るいイメージの言葉が選ばれる年になればと思います。

（全大有労働組合　竹山周作）